

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区名	鶴見区
学校名	鶴見小学校
学校長名	大東 正之

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・鶴見小学校では、第6学年 44名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率は、大阪市平均に対し国語が86%、算数が90%、理科が95%とすべて及ばなかった。さらに、平均無回答率は、大阪市平均に対し国語が56%、算数が47%、理科で60%と大きく下回っている。これは、一見児童が粘りずよく取り組めていないように思われるが、問題別にみると国語は14問中9問、算数は16問中6問、理科は17問中7問は無回答率が大阪市平均より下回っており、粘りずよく取り組む意欲はあるが、応用力を問われる問題に対して対応できなかった様に思われる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

学習指導要領の領域で（言葉の特徴や使い方に関する事項-5.0ポイント）、（情報の扱い方に関する事項-16.2ポイント）、（我が国の言語文化に関する事項-0.8ポイント）（話すこと・聞くこと-7.4ポイント）、（書くこと-4.7ポイント）、（読むこと+22.2ポイント）と読むことの項目以外で大阪市平均を下回っている。読むことの正答率が高いのは、本校の読書活動に注力していることに起因すると思われる。しかし特に情報の扱い方に関する事項が大きく下回っており課題が残る。

〔算数〕

学習指導要領の領域で（数と計算-4.6ポイント、図形-5.2ポイント、測定-1.4ポイント、変化と関係-6.3ポイント、データの活用-7.5ポイント）と、すべて大阪市平均を下回る結果であった。特に「データの活用」は、-7.5ポイントと課題が残った。

〔理科〕

学習指導要領の領域で（「エネルギー」を柱とする領域-19.4ポイント）、（「粒子」を柱とする領域-7.3ポイント）、（「生命」を柱とする領域-10.7ポイント）、（「地球」を柱とする領域-5.7ポイント）と、すべて大阪市平均を下回る結果であった。特に「エネルギー」を柱とする領域は、-19.4ポイントと課題が残った。

質問調査より

朝食をきちんと食べている児童は多いが、決まった時刻に寝る、起きる児童はやや少なく、生活リズムが整っている児童が昨年度よりやや低下している。「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っている」「人が困っているときは進んで助けている」「人の役に立つ人間になりたい」の質問内容で、肯定的に回答する児童が多く、道徳心や規範意識の高さが伺える。さらに、「学校に行くのは楽しい」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」の質問に対しても、肯定的に回答する児童が多く学校を楽しく感じ、一人一人の違いについて認め合える児童は昨年より増加している。

今後の取組(アクションプラン)

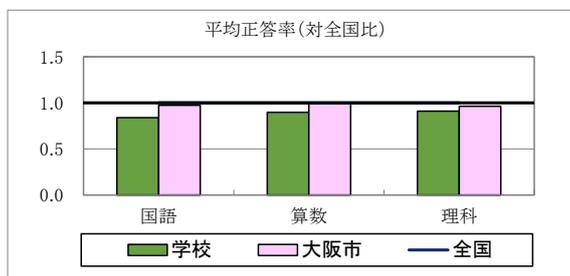
今年度も昨年に引き続き研究教科を国語とし、本年度は「論理的思考力を高め、自分の考えを表現できるように」を目標とし、研究題材を説明文にそえ、研究を進めることとした。話し合い活動を中心に、児童が主体的に課題に向き合い自分の考えを表現できることを目標に、子どもたちが進んで参加したくなるような授業づくりの工夫と、効果的な話し合い活動の工夫を視点として、児童が興味を持ちながら進んで授業に参加し、友達の意見などを聞き、話し合いを通して学ぶ楽しさやわかる喜びを味わわせ、読書活動に力を入れ、学習意欲を高めていくことにつなげられるように取り組んでいく。学習を効果的に進めるためには基礎基本の定着が必要であるため、朝の時間を用いた、読書タイム、学短時間学習タイムを引き続き実践していく。学習の楽しさや自力解決できた喜びを味わうことから、子どもたちの自己有用感を高めていけるような活動に繋げていきたい。

ブロック化予算は、励まし用のシール購入、自主学习ノートの購入等を行い、自主学习の意欲向上に繋げていけるよう進めている。今後も続けていきたい。

【 全体の概要 】

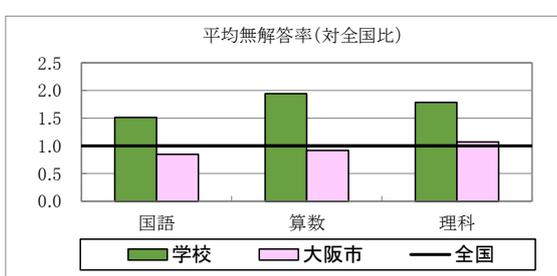
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	56	52	52
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	5.0	7.0	5.0
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



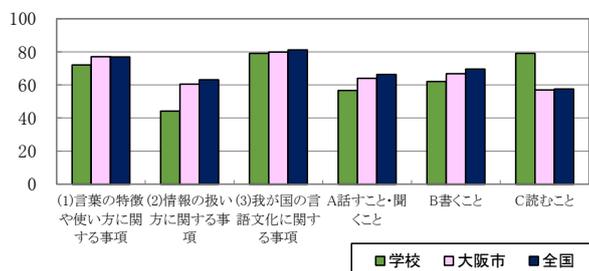
【 国語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	2	72.1	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	44.2	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に 関する事項	1	79.1	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	56.6	64.0	66.3
B 書くこと	3	62.0	66.7	69.5
C 読むこと	4	79.1	56.9	57.5

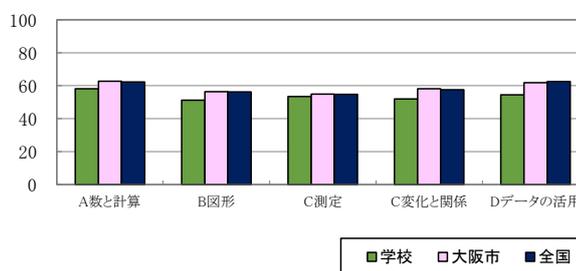
【 算数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	58.1	62.7	62.3
B 図形	4	51.2	56.4	56.2
C 測定	2	53.5	54.9	54.8
C 変化と関係	3	51.9	58.2	57.5
D データの活用	5	54.4	61.9	62.6

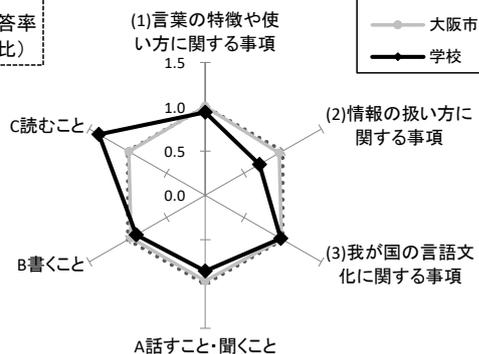
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



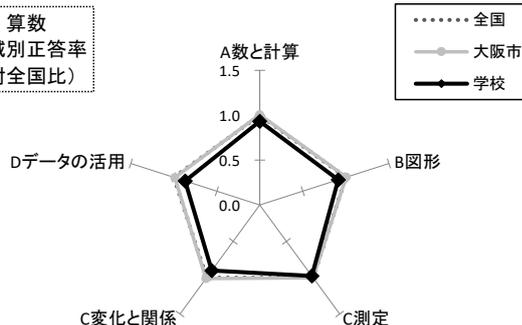
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

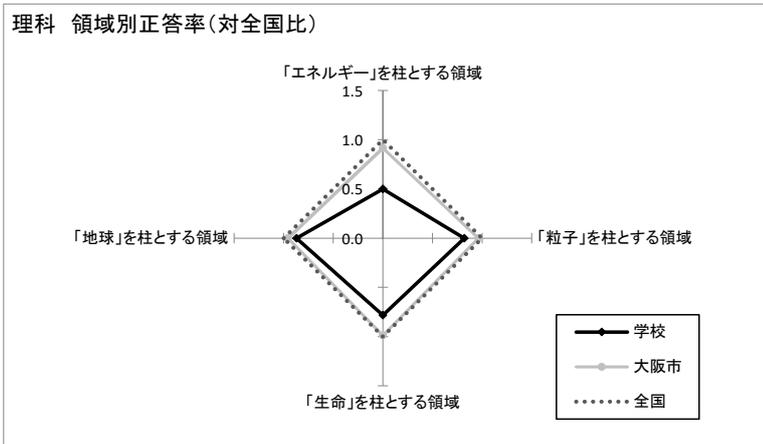
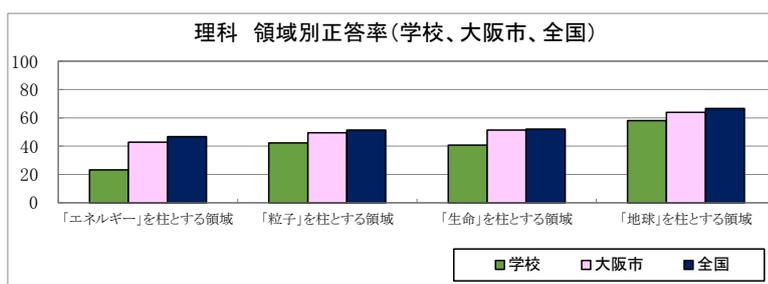


算数
領域別正答率
(対全国比)



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	23.3	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	42.2	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	40.7	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	58.1	63.8	66.7

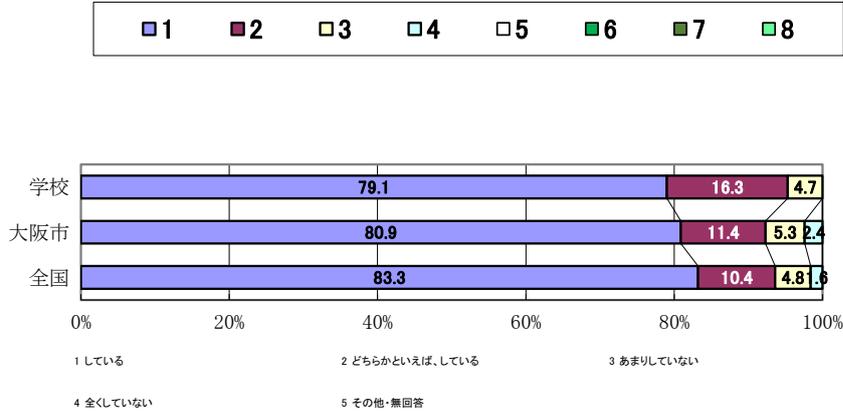


児童質問より

質問番号
質問事項

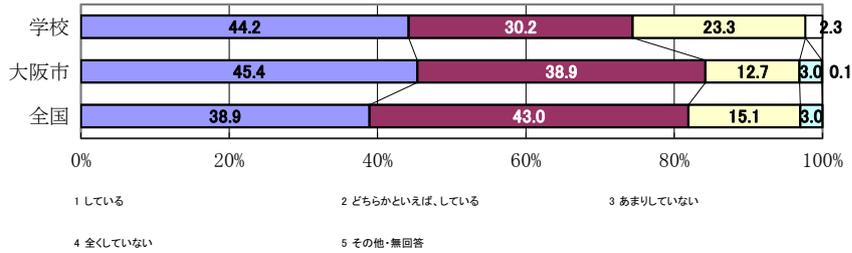
1

朝食を毎日食べていますか



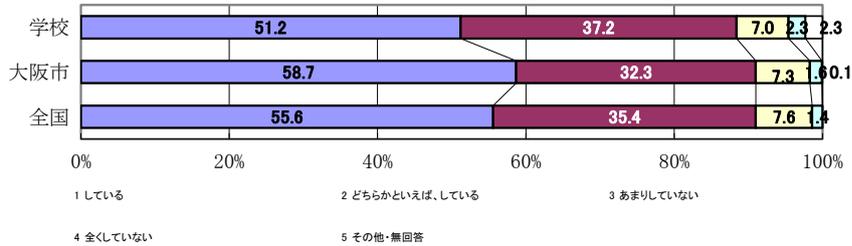
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



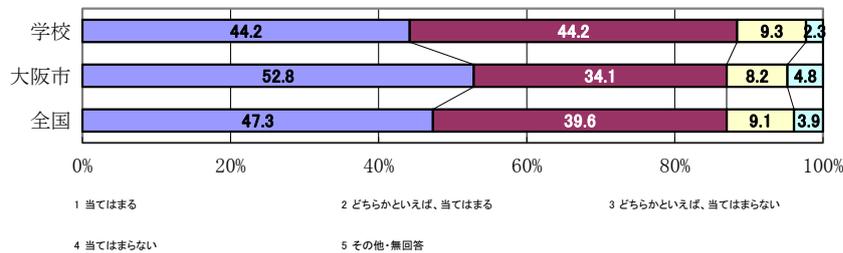
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



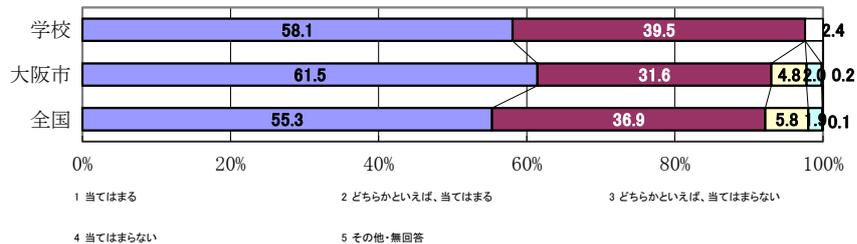
5

自分には、よいところがあると思いますか



6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

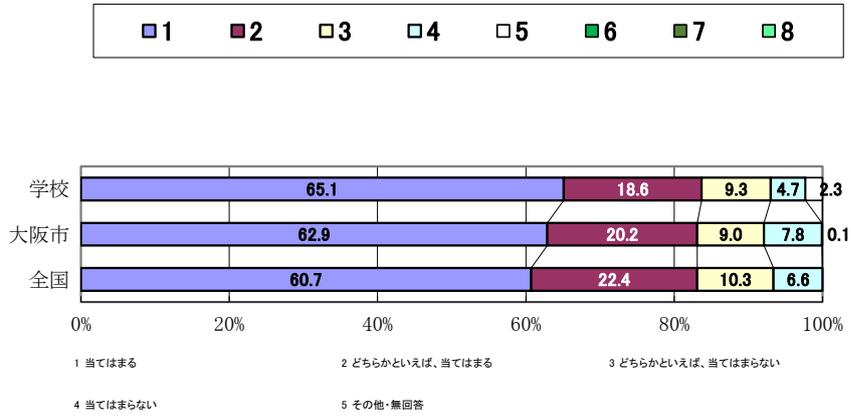


児童質問より

質問番号
質問事項

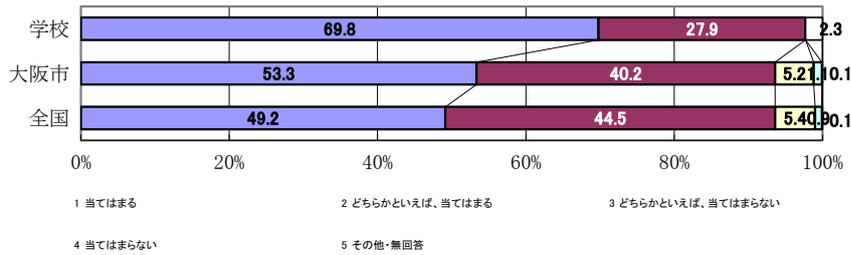
7

将来の夢や目標を持っていますか



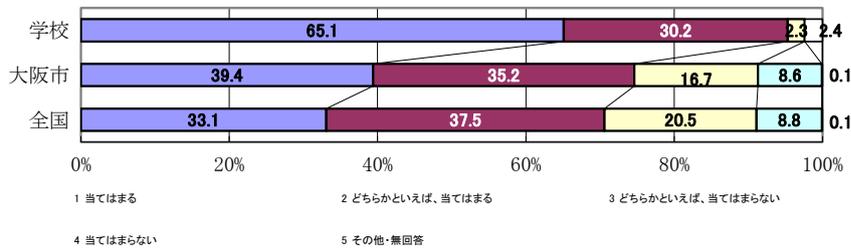
8

人が困っているときは、進んで助けていますか



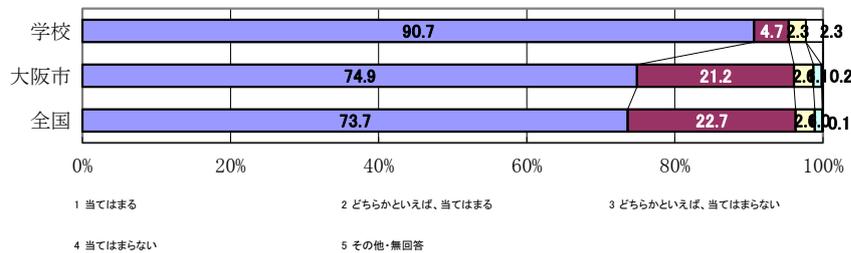
10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



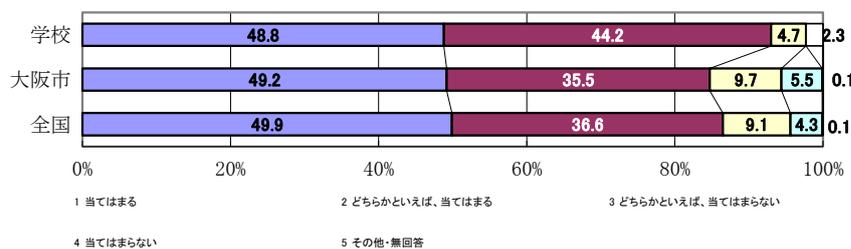
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



12

学校に行くのは楽しいと思えますか

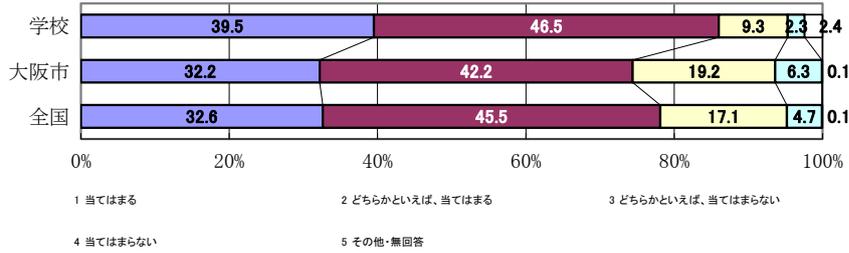


児童質問より

質問番号
質問事項

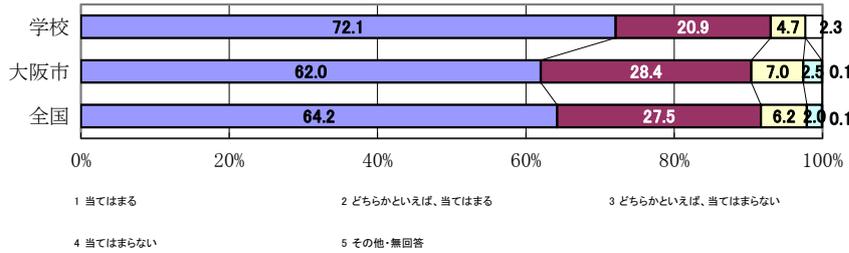
13

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか



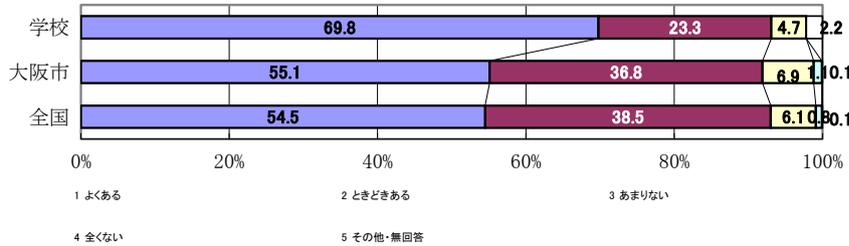
14

友達関係に満足していますか



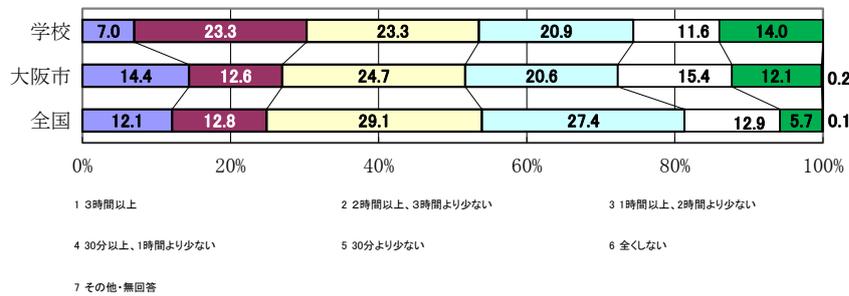
15

普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



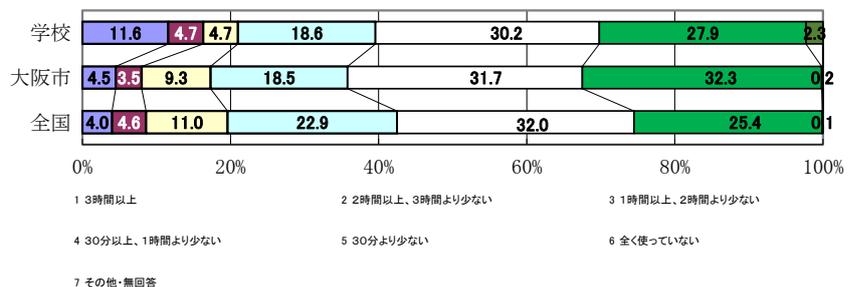
17

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



18

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)



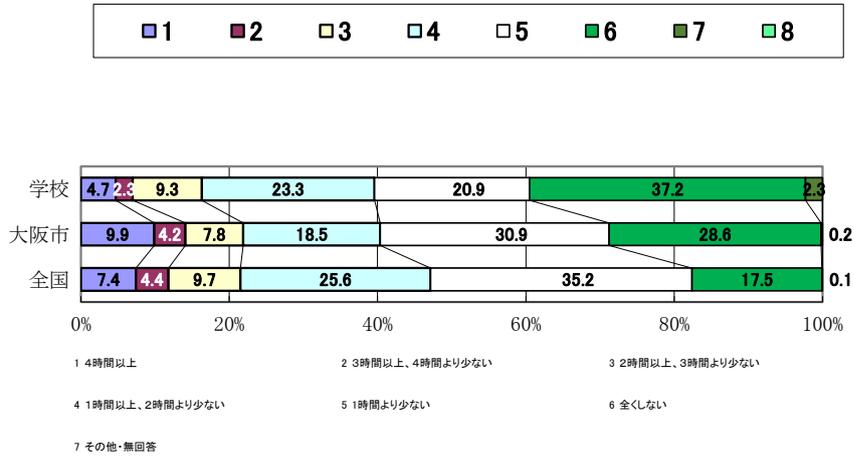
児童質問より

質問番号

質問事項

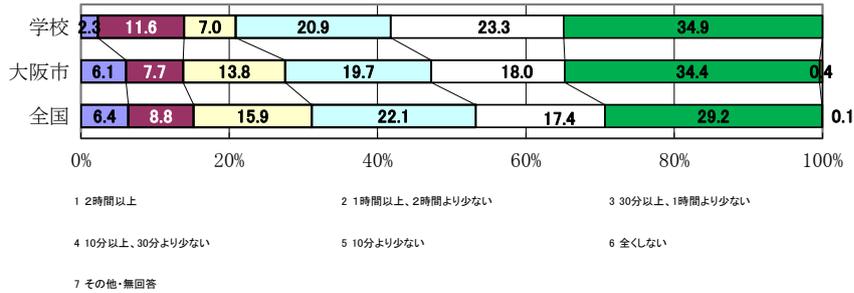
19

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



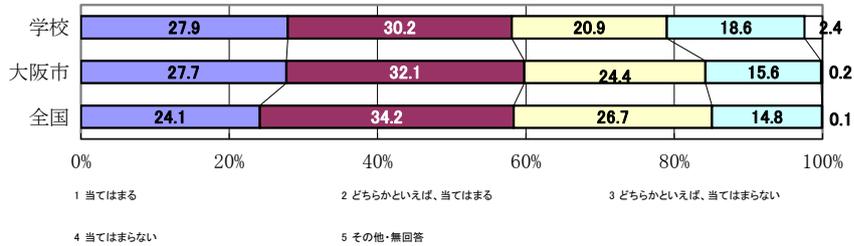
21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



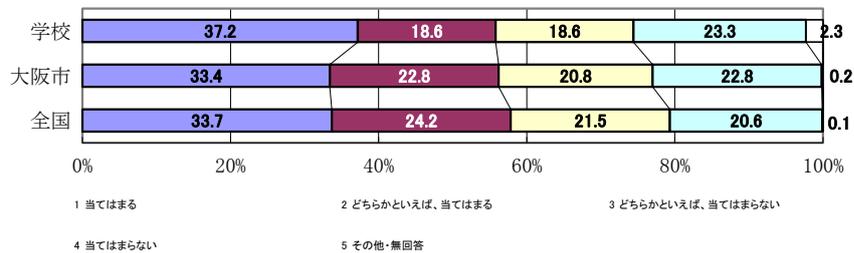
45

国語の勉強は好きですか



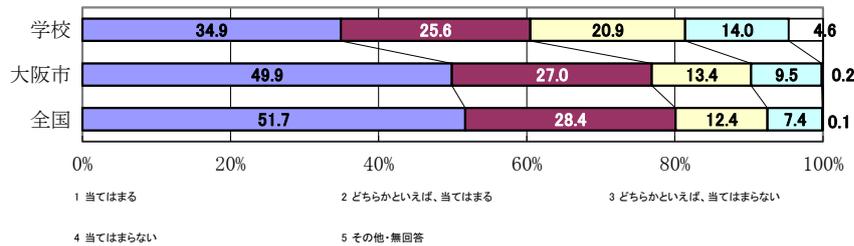
53

算数の勉強は好きですか



61

理科の勉強は好きですか



学校質問より

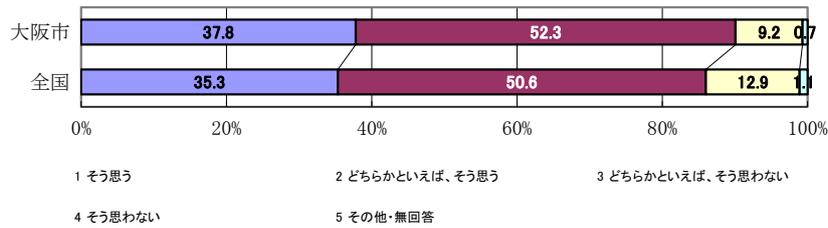


質問番号
質問事項

8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

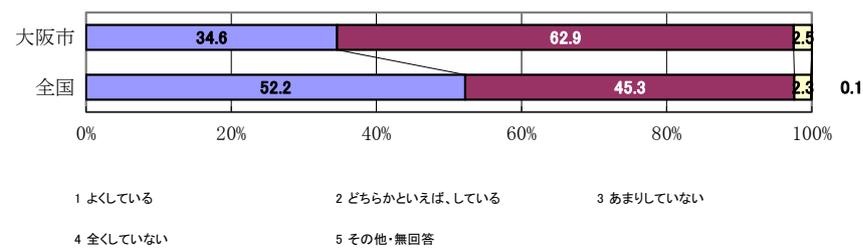
学校 「そう思わない」を選択



16

指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか

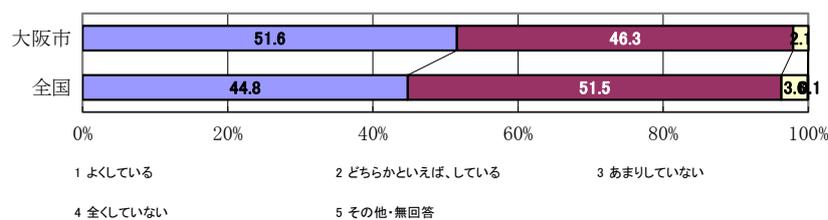
学校 「どちらかといえば、している」を選択



17

言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

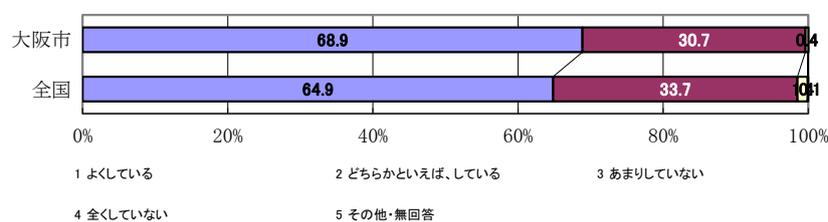
学校 「どちらかといえば、している」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択



32

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現などの学習活動を取り入れましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択

